

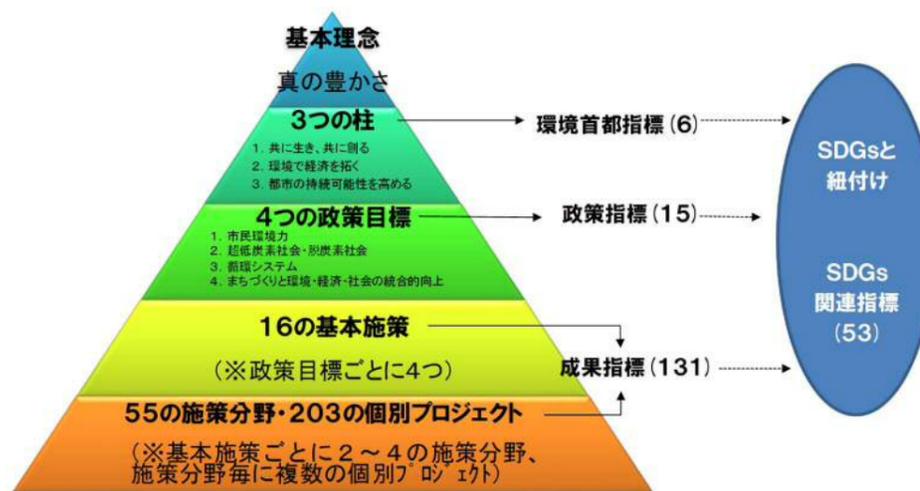


北九州市環境基本計画 進捗評価報告（平成 29 年度実績）の概要について

1 進捗評価の概要

「北九州市環境基本計画」とは、北九州市環境基本条例に基づき、環境の保全に関する施策を総合的・計画的に推進するために策定した計画です。

進捗評価の目的は、「北九州市環境基本計画」の実効性を確保し、計画の着実な推進を図るために、環境首都指標の進捗状況や、各政策目標・基本施策・施策分野及びそれらを裏付ける 203 の個別プロジェクトの取組状況を、指標等を活用して定量的・定性的に進捗点検を行うものです。これは、「計画 (Plan) → 実行 (Do) → 評価 (Check) → 改善 (Action)」の P D C A サイクルに沿って実施するものです。



2 総合評価

下表のとおり、評価を実施した 203 プロジェクトについては、「A：積極的推進」及び「B：一部見直し」のみで、「C：抜本的見直し」及び「D：廃止・休止」に該当するプロジェクトはありませんでした。「A：積極的推進」が 59.6% (121 件) で「B：一部見直し」を上回っている状況にあり、環境施策全般として順調に推進できたものと考えています。

政策目標	項目	プロジェクト数	A:積極的推進	B:一部見直し	C・D
第1	市民環境力の発展・『北九州環境ブランド』の確立	44	31 (70.5%)	13 (29.5%)	0
第2	超低炭素社会・脱炭素社会の実現	41	24 (58.5%)	17 (41.5%)	0
第3	循環システムの構築	79	43 (54.4%)	36 (45.6%)	0
第4	豊かなまちづくりと環境・経済・社会の統合的向上	39	23 (59.0%)	16 (41.0%)	0
合計		203	121 (59.6%)	82 (40.4%)	0

3 政策目標に対する評価

4つの政策目標すべてにおいて、「A：積極的推進」及び「B：一部見直し」のみで、「C：抜本的見直し」及び「D：廃止・休止」に該当するプロジェクトはなく、プロジェクトの進捗としては概ね順調といえます。

第1 市民環境力の更なる発展とすべての市民に支えられた『北九州環境ブランド』の確立

エコライフステージや環境首都検定、ESD 活動、まち美化啓発、3R活動などの官民一体となった環境の取組み、環境国際協力や環境国際ビジネスなどアジア低炭素化センターの取組みが着実に成果を上げています。

基本施策	項目	プロジェクト数	A:積極的推進	B:一部見直し
1	環境活動と地域活性化の好循環	17	12 (70.6%)	5 (29.4%)
2	環境人材の育成	12	8 (66.7%)	4 (33.3%)
3	環境リスクへの対応	5	1 (20.0%)	4 (80.0%)
4	北九州環境ブランドの確立	10	10 (100.0%)	0
合計		44	31 (70.5%)	13 (29.5%)

第2 2050年の超低炭素社会とその先にある脱炭素社会の実現

再生可能エネルギーの導入量が全国の自治体で3位となるなど着実に成果を挙げていることに加え、洋上風力発電の拠点化や水素社会の実現にも積極的に取り組んでいます。また、環境モデル都市の国のフォローアップ結果において、8年連続で最高評価を受けているなど、国の評価にも表れています。

基本施策	項目	プロジェクト数	A:積極的推進	B:一部見直し
1	ストック型社会への転換	18	10 (55.6%)	8 (44.4%)
2	インベーションと産業クラスターの構築	9	3 (33.3%)	6 (66.7%)
3	次世代エネルギー拠点の総合的な形成	7	4 (57.1%)	3 (42.9%)
4	アジア規模での超低炭素社会実現	7	7 (100.0%)	0
合計		41	24 (58.5%)	17 (41.5%)

第3 世界をリードする循環システムの構築

食品ロス対策をはじめとする循環型社会の実現に向けた取組みやPCB事業、自然共生社会の実現に向けた取組みを進めています。特に、20周年を迎え、天皇・皇后両陛下も訪問された北九州エコタウンは、日本最大級のリサイクル拠点として事業を進めています。

基本施策	項目	プロジェクト数	A:積極的推進	B:一部見直し
1	3Rプラスの推進と資源効率率性向上	25	16 (64.0%)	9 (36.0%)
2	施設整備・技術開発と循環産業拠点都市の形成	17	12 (70.6%)	5 (29.4%)
3	化学物質や有害物質の適正処理・適正管理	11	1 (9.1%)	9 (90.9%)
4	生物多様性の確保による自然循環	26	14 (53.8%)	12 (46.2%)
合計		79	43 (54.4%)	36 (45.6%)

第4 将来世代を考えた豊かなまちづくりと 環境・経済・社会の統合的向上

大気・水・土壌環境等の保全や環境アセスメントなどを通じた安全・安心なまちづくり、市民や企業と連携した環境首都・SDGsの実現に向けた取組みを進めています。また、日本政府による第1回ジャパンSDGsアワードの特別賞に選ばれるなど、国からもSDGsの先進都市としての評価を受けています。

基本施策	項目	プロジェクト数	A:積極的推進	B:一部見直し
1	安全・安心でレジリエント(強靱)なまちづくり	12	2 (16.7%)	10 (83.3%)
2	環境と社会にやさしい快適なまちづくり	9	6 (66.7%)	3 (33.3%)
3	環境産業育成と国際的なビジネスの推進	13	10 (76.9%)	3 (23.1%)
4	SDGsの実現に向けた取組と環境ガバナンス	5	5 (100.0%)	0
合計		39	23 (59.0%)	16 (41.0%)

4 SDGsのゴールの評価

本計画では統合的解決の視点を持って、一つの環境施策が同時に複数のSDGsに貢献することにより、効果的な取組を進めていくことにしています。

今回のプロジェクト評価で全体の3分の2にあたる約69%のプロジェクトが複数のゴールに関係しています。

最も多くのプロジェクトが関係したゴールは「ゴール12 (つくる責任 つかう責任)」で、約43%の88プロジェクトが該当しました。これは本市が一般廃棄物のリサイクル率政令市トップを目指し、ごみの減量化・資源化等のプロジェクトを多く進めていることが理由に挙げられます。

今後も一つ一つのプロジェクトができるだけ多くのSDGsのゴールに効果を及ぼせるよう取組みを進めていきます。

